

今月の川柳

雑炊に頬寄せ合った囲炉裏端

彰夫

透明の僕が見た空青かった

美水

人と熊もう棲み分けはできません

千恵美

切りたくもあり切りたくもない絆

恵美子

始筆の滲みに決断できぬ僕の声

てる

さよならと土に還っていく命

忠士

